

## 日本赤十字社の活動について

日本赤十字社大分県支部国東市地区（事務所 国東市福祉事務所）では毎年5月に日本赤十字社運動月間で皆さまから社資として協力いただいておりますが、皆さまから寄せられた活動資金は災害救護活動、赤十字ボランティア、青少年赤十字（JRC）の育成、各種講習の普及、国際活動に使われています。

### 《有功章等のご協力について》

例年、赤十字には退職時における寄付金をはじめ各方面から寄付金をお寄せいただいております。こ

うした高額寄付金などを納めていただいた方には日本赤十字社名誉副総裁宮妃殿下から九州赤十字大会で下記のとおり顕彰されます。

※税制上の優遇措置が受けられます。

### 【有功章（彰）等の募集】

#### 募集区分

- ①銀色有功章 20万円以上50万円未満
  - ②金色有功章 50万円以上
  - ③感謝状 金色有功章受章後、更に50万円以上
- ※上記受章（彰）者には、九州八県赤十字大会のご案内をいたします。

**問い合わせ** 国東市福祉事務所福祉対策課総務係

☎0978⑦5164 内線141・142



## 支えあい みんなで広げる 地域の輪

### 第1回 国東市福祉のつどい開催

地域福祉を進める関係者が一堂に会し、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域社会の実現をめざして「第1回国東市福祉のつどい」が、11月22日(木)午前9時30分から武蔵セントラルホールで、市内の福祉関係者約400名が参加して開催されました。

はじめに、参加者全員で社会福祉関係物故者に黙とうを捧げた後、主催者の国東市社会福祉協議会会長の野田侃生市長があいさつ。続いて、長年にわたり社会福祉の様々な分野で貢献のあった20団体と47個人に表彰状と感謝状が贈られました。

国東市社会福祉協議会では、本年度から3年計画で誰もが安心、安全に過ごしていけるよう小地域単位で助け合い、支えあいができる活動体制とシステムづくりをめざして「支えあいまちづくり事業」を推進しており、大分県社会福祉協議会の広瀬通隆事務局次長による「支えあいまちづくり事業」の説明とビデオ上映も行われました。



## ソニーセミコンダクタ 九州株式会社が車イスを寄贈

ソニーセミコンダクタ九州株式会社から、車イスが市に寄贈されました。

11月13日(火)に市役所で行われた贈呈式では、同社大分テクノロジーセンター大分生産部門の千田広稔副部門長、同センターの「燦」活動リーダーの西村典子さん、サブリーダーの信原智さんから、高木正史副市長に車イスが手渡されました。

同社では、大分、長崎、熊本、鹿児島各テクノロジーセンターで空き缶のリングプルを収集し、リサイクル業者へ売却。その売上金で車椅子を購入し、九州各地の養護学校や老人福祉センターなどに寄贈するボランティア活動を2001年から始めています。車椅子1台の購入に必要なリングプルは600kgで、今回で8台目の寄贈となります。

千田副部門長が「この車イスには、九州各地の皆さんの善意の気持ちがこもっています。役立ててください。」とあいさつ。高木副市長が「貴重な車イスをありがとうございます。市の特別養護老人ホーム姫見苑で大切に使用させていただきます。」とお礼を述べました。



▶車イスを贈呈していただきました